(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3127039号
(U3127039)
(45)発行日　平成18年11月16日(2006.11.16)　(24)登録日　平成18年10月25日(2006.10.25)

(51)Int.Cl.　F I
A01M 1/20 (2006.01)　A01M 1/20 V

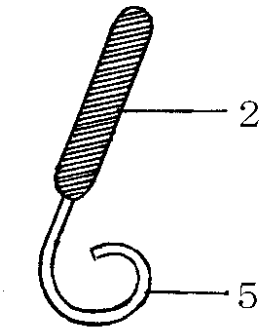
評価書の請求 未請求　請求項の数 2　ＯＬ　（全 4 頁）

(21)出願番号　実願2006-7258(U2006-7258)
(22)出願日　平成18年9月7日(2006.9.7)

(73)実用新案権者　502296925
株式会社プロビデンス
東京都世田谷区尾山台２―２６―７
(72)考案者　浅見俊夫
東京都世田谷区尾山台２２６７

(54)【考案の名称】柄付き蚊取線香

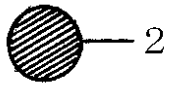
(57)【要約】
【課題】　屋外で一般的な渦巻き型蚊取線香を使う場合に支持台や容器を必要とするが、この支持台や容器を必要としない蚊取線香を提供し、置く場所を限定されない蚊取線香。
【解決手段】　蚊取線香を串状の木製の柄の上部に成形固着し、柄付き蚊取線香をつくり、柄の部分を地面に差込み自立させる。又、柄となる素材を金属素材に変える事で支持台や吊り鈎を手で成形し使用することができる。
【選択図】　図７



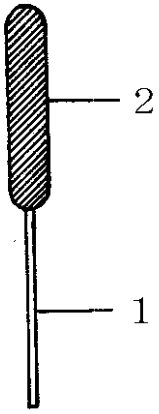
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
木製の柄の上部に成形された蚊取線香を固着させた串状の地面に差し込む事ができる柄付き蚊取線香。
【請求項２】
串状の柄を手で折り曲げ可能な金属素材に変える事により支持台や吊り鈎を成形し独立して使用できる請求項１の柄付き蚊取線香。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は屋外で簡単に効果ある蚊取線香の使い方ができる、蚊取線香に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
従来の蚊取線香は渦巻き型が主流になっていて、使用するには支持台又は容器が必要になっている。
【０００３】
これに対し蚊取線香の形状の工夫がなされており、例えば特開平１１２０９２０１に筒状形態の屋外用蚊取線香が提案されているが使う時に専用の支持台、容器が必要となる。又、特開２００３９２９６８に提案されている蚊取線香器具は基台となる容器の中に軸を収納するために大きさ、長さが限定され、軸の上部に蚊取線香を平面的に乗せて使用するので蚊取線香の大きさ、量が限定される。
【特許文献１】特開平１１２０９２０１号公報
【特許文献２】特開２００３９２９６８号公報
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
従来の渦巻き型蚊取線香は屋外で使用する時に支持台、容器が必要となり安定した置き場所を選択しなければならない。
【０００５】
従来の渦巻き型蚊取線香は平面的に二つの渦巻き蚊取線香が重ねられ保管されているので取り出し、使用する時の手間がかかる。
【０００６】
これに対して本考案は蚊取線香の支持台、容器を必要とする問題解消を課題とするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
上記の課題を解決する為に、本考案は木製の柄の上部に成形された蚊取線香を固着させた串状の地面に差し込む事ができる柄付き蚊取線香である。又、本考案は串状の柄を手で折り曲げ可能な金属素材に変える事により支持台や吊り鈎ができる柄付き蚊取線香である。
【考案の効果】
【０００８】
蚊取線香の線香部分は串状の柄の上部に成形されているため、柄で束ねる事が容易となり、柄の部分を握り蚊取線香部分に触れる事無く取り出す事ができる。
【０００９】
本考案の柄付き蚊取線香は屋外で土の地面に差し込み、自立することができ、その構造及び使用方法が非常に簡単であり、蚊取線香を使用中に蚊の発生場所にあわせての移動し、手に持つ事ができる為、害虫防除効果が高まる。又自立させる為の空間は小さいので複数個の柄付き蚊取線香を使う事でより効果は倍増する。

【考案を実施するための最良の形態】
【００１０】
柄付き蚊取線香の柄１は串状の地面に差し込む事のできる木製とする。
【００１１】
柄付き蚊取線香の柄１、４、５の上部周囲に成形された蚊取線香２を固着させる。蚊取線香の大きさ、長さは蚊取線香の効力、時間によって調整する。
【００１２】
柄付き蚊取線香の柄４、５となる素材を手で折り曲げる事のできる針金などの金属製にする事で柄の部分を自立できる支持台５に成形でき、又、吊り鈎状４にして柄付き蚊取線香を吊る事ができる。
【実施例】
【００１３】
図１から５図までの記載実施図から図５に示すように柄付き蚊取線香を地面に差し込み使用する。火は図２の２上部に点火させる。又、柄１を持ったまま着火して移動する事もできる。柄１の長さ、蚊取線香２の大きさは使用する場所の状況、効果、使用時間によって変える。
【００１４】
図６、図７の図は柄付き蚊取線香の柄４、５の素材を金属に変える事によって使用する場所を広くし、効果を高める。図６では柄の素材を金属にして吊り鈎状４に成形して木の枝やロープ等に吊る事ができる。図７では柄の素材を金属にして自立できるように渦巻き型の自立台５を成形する事ができる。
【図面の簡単な説明】
【００１５】
【図１】柄付き蚊取線香の平面図である。
【図２】柄付き蚊取線香の側面図である。
【図３】柄付き蚊取線香の底面図である。
【図４】柄付き蚊取線香の断面図である。
【図５】柄付き蚊取線香を地面に差込んだ使用図である。
【図６】本考案の別の実施例の柄付き蚊取線香の柄の素材を金属にして吊り鈎状に成形した例。
【図７】本考案の別の実施例の柄付き蚊取線香の柄の素材を金属にして自立台を成形した例。
【符号の説明】
【００１６】
１・・木製柄部
２・・蚊取線香部
３・・地面
４・・金属製柄部（吊り鈎状に成形）
５・・金属製柄部（渦巻き型自立台に成形）

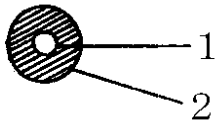
【図１】



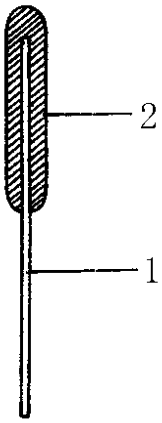
【図２】



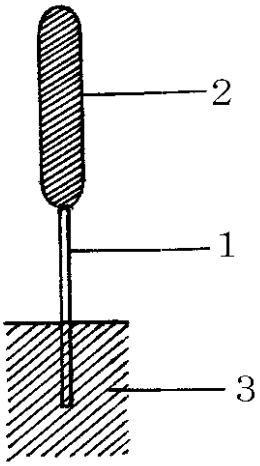
【図３】



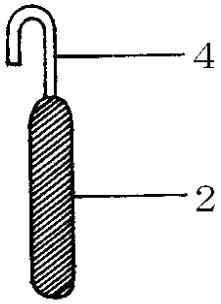
【図４】



【図５】



【図６】



【図７】

